

Fujitsu Accelerator Program for SPORTS

オープンイノベーションプログラム

Fujitsu Accelerator Program (FAP) for Sports とは、富士通スポーツチームが保有するリアルアセットとスタートアップ企業の革新的な技術・アイデアを組み合わせることで、スポーツ領域に加え、エンターテインメント・観光・グッズ販売などの周辺領域も含めて、企業スポーツのさらなる価値拡大に挑戦するプログラムです。



株式会社
グレースイメージング



汗の乳酸量を計測するデバイスとフォーム分析技術を組み合わせ、トップアスリートへ適切なトレーニング強度を提案できないか検証中



MEMジャパン
株式会社



選手同士のコンタクトが多い競技において、噛み合わせ特性を考慮したマウスガードを装着することで、全身の故障を予防できないか検証中



株式会社ロッケン



バスケットボールの映像分析において、映像解析にAIを活用することで選手の動きを多角的に捉え、チームスタッフの業務を効率化できないか検証中



© Migita

FAP for Sports PLAY NEXT 実証から、次のプレーへ。

成果と課題が交わり、次の共創が始まる。

FAP for SPORTS採択企業による実証成果発表と、事業会社によるスポーツビジネス課題のリバースピッチを実施。
新たな連携と挑戦が生まれる場を目指します。

詳細はこちら



日程 2026年10月14日（木） 14:30-19:00（予定）
会場 Uvance Innovation Studio
（神奈川県川崎市幸区大宮町 1 - 5）

〔お問合せ先〕 富士通株式会社 Employee Success本部 企業スポーツ推進室
<https://sports.jp.fujitsu.com/ouen/>

スポーツを、富士通の 価値創造を支える領域へ

富士通は、企業スポーツを通じて企業イメージの向上、地域社会との連携、従業員エンゲージメントの強化に取り組むとともに、顧客とのコラボレーション機会を創出し、ビジネスへの貢献を目指しています。さらに、長年続けてきたスポーツ支援を、社会に良い変化をもたらすだけでなく、未来の企業価値につながる「資産」として再定義し、2025年度にはマテリアリティに「スポーツ」を新たに追加しました。企業スポーツが育んできた選手・チームの成長、挑戦する文化、地域とのつながりなどの価値を「Victory（勝利）」と「Value（価値創造）」の両立によってさらに広げ、社会と企業の双方にポジティブなインパクトをもたらす領域として位置づけています。

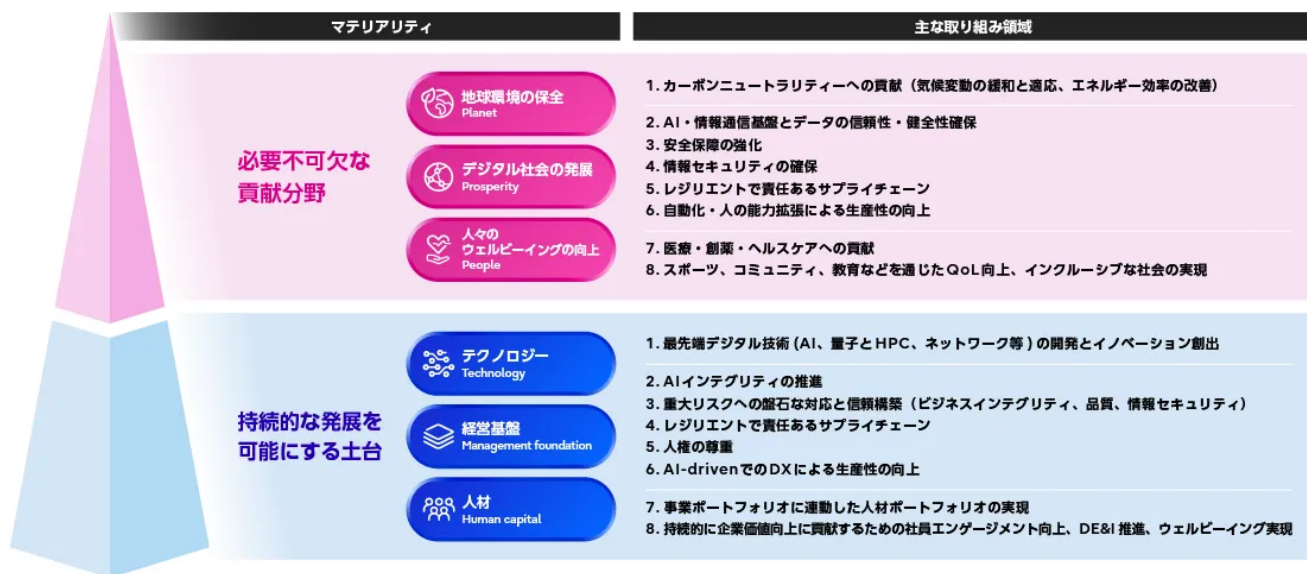
社会の期待と企業活動を結びつける スポーツの力

社会にも企業にも欠かせないテーマ——それが「人々のウェルビーイングの向上」です。富士通は、この価値をスポーツの力で実現するため、2025年度にマテリアリティへ「スポーツ」を追加しました。スポーツは、健康や学び、多様性の尊重、コミュニティ形成など、多方面からウェルビーイングに寄与できる分野です。富士通は、この力を企業活動における価値として正面から活用し、社会との関わりをより積極的に進化させていきます。

企業資産としてのスポーツを 未来の価値創造へ

長年培ってきたスポーツアセット——アスリートの挑戦、競技現場の知見、地域に根ざした活動——は、ブランド価値向上にとどまらず、新たな事業創出や共創の場づくりなど、多面的な可能性を秘めています。富士通は、こうした資産を社会価値と企業価値の双方を高める基盤として活用し、未来の価値創造へと発展させていきます。

富士通グループのマテリアリティにおけるスポーツの位置づけ



マテリアリティとは、企業が持続的に成長するために優先的に取り組むべき重要課題です。近年では、事業戦略への組み込みが企業評価にも直結するなど、その重要性が高まっています。富士通は、スポーツを図のようにマテリアリティに位置づけ、企業価値と社会価値をつなぐ新たな領域として取り組んでいます。